

【22_187技術系メルマガ】トレンド中の狙い、レンジ中の狙い

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日は質問にお答えする回でいこうと思います。

僕が現在のトレードの基礎にしている『MA収縮』+『3波』でトレードに取り組む際

「3波目発生を見込んでエントリーしたが、逆方向に貫かれてロスカットが多い」

というお悩みをよく貰うようになりました。

そこで、質問者の方から実際にトレードしたポイントを折り返し送ってもらったものを

僕なりに見た結果、「ある傾向」が見えてきたので

今回のメルマガで、その傾向と対策を共有したいと思います。

□
■ 自分の『メインの時間足』はレンジ？トレンド？
└──────────┘

先日何となくツイートしたのを思い出したので改めて共有しておく

僕が行っている『3波理論』というのは、原則執行足(エントリーを行う時間足)で

【トレンドが発生している事】が大前提となります。

▼参考ツイート(模式図付き)▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1541997481268895744?s=20&t=ISe_yO8s3l47xKIQluyWtA

この前提を踏まえないと、3波のつもりでエントリーしても

自分が認識した「1波」を全否定したように見える(実際は、レンジ圏を上下動しているだけ)動きに巻き込まれることになるので

必然的にロスカットとなってしまいます。

では、その場合はトレンドが出るまで一切手を出さないのか?という、そういうわけではなく

僕の場合は、メインの執行足(主にH1足)で明確なトレンドが無い状態でも

「ボラティリティがそれなりにある場合」は

H1足で見ている新たな波の発生(例えば20SMAのG1)を一段下の時間足(M15足)に落として同じ分析を行い

M5足以下のチャートパターンに分解してリスクリワードが合えばエントリー

という事もよくやっています。

最近の事例だと【172】通目のメルマガで実事例として紹介した、ドル円のエントリーなどがそれに当たります。

時間足を上下動かして分析するというのは、最初は難しいですが

まずは基本とする基準の時間足を中心に、一貫して『1波』を探す練習を続けていくと

どの時間足でどんな『MA収縮』と連動していれば、綺麗な『3波』が出てくるのか

という傾向が徐々に分かるようになってきます。

これも、検証母数を集めることによって各々のイメージと言語化を経て分かるようになってきますので

結論を急ぐことなく、地道にデータを集めて、自分なりのイメージを固めるように意識して取り組んでみてくださいね。

今日はいつもより短めですが、このへんで。。。。